

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学 I		実習	安村 明子・前川 加奈	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法を行うための検査・測定について学び、実技を通して技術の修得をすることが目的となる。解剖学、運動学、生理学の知識を基に、血圧・脈拍測定、形態測定、関節可動域測定の方法を正しく実施できるように身に付ける。				
授業の到達目標				
1. 脈拍・血圧測定を理解し、実施できる。 2. 形態測定法を理解し、実施できる。 3. 関節可動域測定を理解し、実施できる。 4. 一定の時間内に評価を終了し、記録し、まとめることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	理学療法評価総論、バイタルサイン：脈拍測定			
2	バイタルサイン：血圧測定			
3	形態測定：総論、四肢長（上肢）			
4	形態測定：四肢長（下肢）			
5	形態測定：周径（上肢）			
6	形態測定：周径（下肢）、切断について			
7	関節可動域測定：総論、上肢測定①			
8	関節可動域測定：上肢測定②			
9	関節可動域測定：上肢測定③			
10	関節可動域測定：上肢測定④			
11	関節可動域測定：下肢測定①			
12	関節可動域測定：下肢測定②			
13	関節可動域測定：下肢測定③			
14	関節可動域測定：体幹測定①			
15	関節可動域測定：体幹測定②、まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	・筆記試験（50%） ・実技試験；血圧測定・形態測定（20%）、関節可動域測定（30%）		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	実技、筆記試験の割合は上記の通りとし60%以上で合格とする。 実技試験は講義期間中、定期試験期間前に分けて行う。			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第3版	内山靖 編	医学書院		
運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版	青木隆明 監修	メジカルビュー社		
運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版	青木隆明 監修	メジカルビュー社		
自由記載	プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系第3版も自主学習で使用し理解を深めること。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
理学療法評価学 改訂第5版	松澤正 他	金原出版株式会社		
臨床理学療法評価法 臨床で即役に立つ理学療法評価法のすべて	鈴木俊明 監修	アイベック		
自由記載				
備考				
Tシャツ・ハーフパンツなど動きやすい服装で授業に参加すること。授業時間外を有効に活用し練習を行って技術を習得すること。小テストは基本的に毎授業実施する。授業の進行により、予定された講義・演習内容を変更することがある。				